【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公表番号】特表2006-521887(P2006-521887A)
【公表日】平成18年9月28日(2006.9.28)
【年通号数】公開・登録公報2006-038
【出願番号】特願2006-509487(P2006-509487)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｊ　1/10　(2006.01)
Ａ６１Ｊ　1/05　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　83/00　(2006.01)
Ｆ１６Ｋ　15/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｊ　1/00　３３５Ｄ
Ａ６１Ｊ　1/00　３５０
Ｂ６５Ｄ　83/00　Ｇ
Ｆ１６Ｋ　15/14　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月2日(2007.4.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
弾性壁型容器に連結される分配チップにおいて、
前記本体の近位端に位置すると共に弾性壁型容器内に挿入される寸法を有する単一の分配チップ本体、及び、前記ネック部分から前記本体の遠位端に向けて離れるように延びると共に前記遠位端に向けて延びるボアを有するノズルと、
分配チップが容器に連結され且つ充分な手動圧力が弾性壁に加えられると容器からの滴状分配を行うことができ且つ弁を横切るゼロ圧力差並びにほぼゼロ圧力差での液体の逆流を防止するように構成され、前記本体の遠位端付近に位置する弁と、
分配チップが容器に連結されたときに、容器への空気の流入及び流出を可能にするように構成された少なくとも１つの通気開口と、
少なくとも１つの通気開口を横切って延び且つガス状流体が通気開口を通ることを許容すると同時に液状流体及び汚染物質が通ることを阻止する少なくとも１つの濾過要素とを有することを特徴とする分配チップ。
【請求項２】
少なくとも１つの濾過要素を固定位置に維持するように構成され且つ配置された保持部材を更に有することを特徴とする請求項１記載の分配チップ。
【請求項３】
前記容器が内部空間を形成しており、
分配チップは、これが容器に連結されたときに、前記内部空間に直接連通するように構成されたほぼ真っ直ぐなボアを更に形成することを特徴とする請求項１記載の分配チップ。
【請求項４】
前記分配チップの本体は、第一材料で形成されたベース部分を有し、

前記ノズルは、前記ベース部分から離れて配置されると共に前記第一材料より可撓性の大きい第二材料で形成されていることを特徴とする請求項１記載の分配チップ。
【請求項５】
前記弁はノズルに形成されていることを特徴とする請求項４記載の分配チップ。
【請求項６】
液体を少なくとも１つの通気開口から離れる方向に偏向させるように構成された少なくとも１つのデフレクタ要素を更に有することを特徴とする請求項１記載の分配チップ。
【請求項７】
液体を入れる弾性壁型容器に連結される分配組立体において、
前記弾性壁型容器のネックの内部に係合するように構成された側壁を有するネック部分と、
容器からチップまでほぼ真っ直ぐな流体流れ経路を備えるように、前記ネック部分から離れるように延びると共に容器に連結されたときに容器に直接連通するように配置されるボアを形成するチップを有し、該チップは遠位端を備え、
チップの遠位端に設けられた弁を有し、該弁は前記ボアと実質的に同心状に延びており、
弁は、組立体が容器に連結され且つ充分な手動圧力が容器の弾性壁に加えられると容器からの液体の滴状分配を可能にし、且つ弁を横切るゼロ圧力差並びにほぼゼロ圧力差での液体の逆流を防止するように構成されていることを特徴とする分配組立体。
【請求項８】
液体を入れる弾性壁型容器の開口に連結される分配組立体において、
容器の開口に直接連通する、障害物が無く一定方向のボアを形成するチップを有し、該チップは遠位端及び近位端を備え、該近位端は、容器のネックの内方側壁表面と係合するように構成されたネック部分の遠位端に近くに位置しており、
チップの遠位端に設けられた弁を有し、該弁は前記ボアと実質的に同心状に延びており、前記弁は、平らな表面と、該表面を通って延びている少なくとも１つのスリットと、該少なくとも１つのスリットの対向側面に沿って延びている複数の相互対向表面とを有し、該相互対向表面は、弁が閉じられたときに微生物サイズの粒子が少なくとも１つのスリットを通ることを防止すべく、互いに充分な力を加え合うように構成されていることを特徴とする分配組立体。
【請求項９】
無菌液体を入れる容器に連結される分配組立体において、
前記容器と係合可能な近位端部分、及び、前記本体の遠位端に向かって延びるボアを有し離れるように延びるノズルを有する単一の本体と、
前記ノズルの遠位端に位置しており容器から液体を分配するように且つ前記バルブにおいてゼロに近い圧力差で液体が逆流するのを防止するように構成されたバルブを有するチップと、
組立体が分配に使用されないときはチップを覆うように構成されたキャップと、
チップの汚染を低下させるのに有効な、キャップに配置された殺菌剤ライナとを有することを特徴とする分配組立体。
【請求項１０】
液体を入れる容器に連結される分配組立体において、
前記容器のネックと係合可能な近位端を有する単一の分配チップ本体と、
前記分配チップ本体の近位端から前記本体の遠位端に向かって離れるように延びると共に前記ノズルの遠位端に位置したバルブに向かって延びるボアを有するオーバモールディングされた弾性ノズルと、
前記チップ本体に位置すると共に、分配チップが容器に連結されたときに、容器への空気の流入及び流出を可能にするように構成された少なくとも１つの通気開口と、
分配チップ本体に位置すると共に、少なくとも１つの通気開口を横切って延び且つガス状流体が通気開口を通ることを許容すると同時に液状流体及び汚染物質が通ることを阻止

する少なくとも１つの一緒にモールディングされた濾過要素と、を有することを特徴とする分配組立体。
【請求項１１】
前記少なくとも１つの孔は、分配チップに対する濾過部材の回転配向の如何にかかわらず、空気が、孔及び少なくとも１つの通気開口の両方を通って流れることを可能にするサイズを有し且つ配置されていることを特徴とする請求項１０記載の分配組立体。
【請求項１２】
保存剤を含まない溶液を分配する方法において、
保存剤を含まない溶液を弾性壁型容器内に入れる段階を有し、前記容器は、該容器に直接連通する、障害物の無いボアを形成するチップと、該チップの遠位端に設けられた弁とを備え、前記チップは、前記容器と係合可能な近位端部分を有する単一の本体の一部であり、該弁は、充分な手動圧力が容器の弾性壁に加えられると容器からの液体の滴状分配を行うことができ且つ弁を横切るゼロ圧力差並びにほぼゼロ圧力差での液体の逆流を防止するように構成されており、
容器の弾性壁に充分な手動圧力を加えて、溶液の一滴を分配する段階と、
この直後に手動圧力を解放して、弁を閉じる段階とを更に有することを特徴とする方法。
【請求項１３】
保存剤を含まない溶液を分配する方法において、
保存剤を含まない溶液を弾性壁型容器内に入れる段階を有し、前記容器は、該容器に直接連通するほぼ真っ直ぐなボアを形成し且つ単一のチップ部材と、該チップの遠位端に設けられた弁とを備え、該弁はボアと実質的に同心状に延びており、前記弁は、分配組立体が容器に連結され且つ充分な手動圧力が容器の弾性壁に加えられると容器からの液体の滴状分配を行うことができ且つ弁を横切るゼロ圧力差並びにほぼゼロ圧力差での液体の逆流を防止するように構成されており、
容器の弾性壁に充分な手動圧力を加えて、溶液の一滴を分配する段階と、
この直後に手動圧力を解放して、弁を閉じる段階とを更に有することを特徴とする方法。
【請求項１４】
保存剤を含まない溶液を分配する方法において、
保存剤を含まない溶液を弾性壁型容器内に入れる段階を有し、前記容器は、該容器に直接連通するボアを形成し且つ遠位端を含むチップと、該チップの遠位端に設けられると共に前記チップ上に配置されるようにオーバーモールディングにより形成された弁とを備え、前記容器と前記バルブとの間に位置した一緒にモールディングされた濾過部材を有し、該弁はボアと実質的に同心状に延び且つ平らな表面を備え、少なくとも１つのスリットが実質的に平らな表面を通って延び且つ複数の相互対向表面が少なくとも１つのスリットの対向側面に沿って延びており、該相互対向表面は、弁が閉じられたときに微生物サイズの粒子が少なくとも１つのスリットを通ることを防止すべく、互いに充分な力を加え合うように構成されており、
容器の弾性壁に充分な手動圧力を加えて、溶液の一滴を分配する段階と、
この直後に手動圧力を解放して、弁を閉じる段階とを更に有することを特徴とする方法。
【請求項１５】
前記分配組立体が前記容器に連結されたとき前記容器に入り或いは前記容器から出るようにさせるように構成された少なくとも一つの通気開口と、
前記少なくとも一つの通気開口を横切って延びると共に、ガス状流体が通気開口を通ることを許容すると同時に液状流体及び汚染物質が通ることを阻止する少なくとも一つの濾過要素と、を有する請求項７又は請求項８に記載の分配組立体。
【請求項１６】
少なくとも１つの濾過要素を固定位置に維持するように構成され且つ配置された保持部

材を更に有することを特徴とする請求項１５記載の分配チップ。
【請求項１７】
液体を少なくとも１つの通気開口から離れる方向に偏向させるように構成された少なくとも１つのデフレクタ要素を更に有することを特徴とする請求項１６記載の分配チップ。
【請求項１８】
組立体が分配に使用されないときにチップを覆うように構成されたキャップと、
チップの汚染を低下させるのに有効な、キャップに配置された殺菌剤ライナとを更に有することを特徴とする請求項７又は請求項８に記載の分配組立体。